

姉妹都市サウサリート市長とオンライン市長会談を開催

5月10日

有福市長（会長）とジャネール ケルマン サウサリート市長がオンラインで初めて対面し、姉妹都市プログラムの意義や来年の事業、市政等について会談し、親交を深めました。

会談には、サウサリート姉妹都市協会ハリー チャプマン会長、同協会坂出運営協議会ハリソン チャプマン委員長、2015年留学生ジャンカルロ エスポージトさん、齊藤義明 坂出市議会議長（当時）、松本恭直 都市間交流委員長等も出席し、2014年留学生の小林万莉さんからはビデオメッセージが寄せられました。

留学生から「ホストファミリーのおかげで日本語を学びたいと思うようになった」、「挑戦する楽しさを知り、文化や考え方が違って応援してくれる人がいることを知った」、「人生を変える経験となった」等の話を聴き、留学生交換事業が両市の若者たちの生きる道しるべとなっていることが分かりました。また、両協会は、世界平和と異文化理解の促進を使命として、これからも坂出とサウサリートをつなげていくことを再確認し、来年の留学生交換事業や記念事業について、協議しました。最後に、両市長は、気候変動対策について話し合い、世界共通の課題に鋭意取り組んでいく考えを共有しました。

来年は、姉妹都市提携 35 周年の節目を迎えます。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを期待して、今年を含め3年連続で中止している留学生派遣事業や、記念事業等を実現させたいと思います。



坂出市市制施行 80 周年記念式

国際交流・姉妹都市交流功労者が表彰されました

7月 3日

国際交流に功労のあった2名に市長表彰状が、姉妹都市交流の発展に貢献された1名に感謝状が、それぞれ贈られました。永年のご貢献に深く感謝申し上げます。

国際交流功労	武部 裕光 相談役
国際交流功労	小口 芙悠子 理事(地域国際化委員長)
感謝状	サウサリート姉妹都市協会 スーザン ロー 名誉会長



新型コロナウイルスの影響で、サウサリート市の方々に来坂いただくことは叶いませんでしたが、ケルマン サウサリート市長より、祝辞のビデオメッセージが届きました。坂出市民の皆さんに向けた「(留学生交換事業を含めた)地域活動に積極的に参加しましょう!」との力強いメッセージや、「お会いできることを楽しみにしています。」との言葉をいただきました。



姉妹都市 サウサリート検定

今年、本来留学生を派遣するはずの7月から8月上旬にかけ、サウサリート市の魅力を知ってもらおうと、姉妹都市サウサリート検定を行いました。挑戦者は小学生46名、中学生25名、一般・会員17名の計88名。うち67名が「サウサリート博士」に合格! 難しかった問題を一部紹介します。

小学生

有名な海の生き物は?

正解は「シーライオン」
(Sea lion、アシカの仲間)

坂出との時差(夏時間)は?

正解は「16時間」。日本の方が16時間早く一日が始まります。



中学生

サウサリート市長の任期は?

正解は「1年」。毎年12月に5人の市議会議員から互選で市長と副市長が選出されます。ちなみに市議会議員の任期は4年で、2年毎に2人の議員と3人の議員を決める選挙を交互に行います。

一般

サウサリート市近郊にあるミュアウツズ国立公園で撮影された映画は?

正解は「猿の惑星」。ミュアウツズは樹齢1,000年のレッドウッドが生い茂る、森林浴やハイキングに人気の国立公園です。

在住外国人のためのイベント

在住外国人といっしょにお花見を楽しもう 3.27



春の陽気の中、8か国・地域の外国出身者12名と日本人9名が、坂出の桜の名所を巡りつつ交流しました。当日は、2台のマイクロバスで、鎌田池公園を皮切りに、常盤公園、瀬戸大橋記念公園、西行法師の道の4か所を案内しました。桜は咲き始めでしたが、八分咲きの場所もあり、遠くから眺めたり近くに寄ったり、写真を撮りながらそぞろ歩きして、桜を愛でる日本文化を楽しみました。

名所を巡る中、自己紹介とサイコロを使ってお互いをよく知るゲームをしたことで、日本人も外国出身者も打ち解け、国籍問わず、交流を楽しんでもらえました。最後には「花より団子」という言葉どおり、花見団子や桜餅を紹介してお土産として持って帰ってもらい、日本の春を存分に堪能してもらえたのではと思います。



外国にルーツを持つ
子どものためのイベント

みんなでニホンゴを学ぼう！ 7.30~31



坂出市の外国籍住民数が増加する中、外国にルーツを持つ子どもたちも少しずつ増えています。そこで、子ども同士のつながりづくりや、日本語、学校の勉強等を支援するイベントを初開催しました。

当日は、未就学児から中学生までの子どもたち4名と保護者2名、「にほんご@坂出」の外国出身学習者2名、日本語ボランティア7名などが参加し、日本語ボランティアの皆さんが用意したなぞなぞや、漢字の筆順ゲーム、お友達との会話で使う「なかよし言葉」に挑戦しました。たたいてかぶってジャンケンポン、すいか割り等のゲームでは参加者同士打ち解けた様子も見られ、日本語を通じて交流を楽しみました。

その他、夏休みの宿題にも少し取り組み、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。



募集

「在住外国人や留学生のためのチャリティーバザー」物品提供のお願い

市内には約1,200人外国出身者が住み、様々な場所で見かけることも増えました。そんな彼らとの交流を楽しむイベント※を企画しており、その中でバザーを行い、彼らの生活を応援します。現在、会員の皆様からの日用品等の物品提供を募集しています。団体会員様からのご提供もお待ちしています。皆様のご協力をお願い致します。

受付期限：11月15日(火) ※問合せ・持ち込みは、事務局までお願いします。



物品提供(寄付)をお願いしたいもの(例)

<新品の日用品>

- ・タオル
- ・毛布などの寝具
- ・石けん・ボディソープ・ハンドソープ



<食品>

- ・賞味期限が2022年12月以降で、常温保存できる食品、缶詰、調味料等
- ・米、乾麺



<新品の家電製品>

- ・炊飯器・電子レンジ等

<比較的きれいな自転車>
防犯登録を抹消してきてください。要事前相談



<汚れがあまりない防寒着>

- ・若者向けのジャンパー、ダウンジャケット等(洗濯済の物)



※「地域の外国人との交流&チャリティーバザー」 11月1日(火)申込開始

日時：11月19日(土)午前9時30分から11時30分 参加費：日本人300円(会員とその同居家族) ※一般500円、在住外国人は無料

場所：坂出市勤労福祉センター 多目的ホール 定員：日本人20名、在住外国人30名(申込先着順)

内容：ゲームで交流、在住外国人向けバザー等



世界の遊びを楽しもう 一カナダ編



3.25



春の恒例行事イースターのイベントを一旦卒業し、子どもたちに世界の遊びを通してその国の文化や魅力を感じてもらおうと、カナダ出身の秋月シンシアさんに様々な角度からカナダのことを教えてもらうイベントを開催しました。

子どもたちは、カナダの位置、面積、食べ物、小学生の日常生活などをクイズ形式で学び、日本のハンカチ落としに似た” Duck Duck Goose” と、だるまさんがころんだに似た” What time is it, Mr. Wolf?” というゲームで体を使って遊びました。よほど楽しかったのか、休憩時間もゲームを続けていました。

その後は、着席してカナダに関係する単語を教えしてもらったり、ビンゴをしてカナダの食べ物をもらったり、カナダの迷路や塗り絵をして楽しみました。最後に子どもたちはたくさん質問して、カナダへの興味や理解が深まったようです。



国際理解講座
Korea
4.29
ソウル
グルメツアー
韓国料理と韓国語



今年最初の講座は、韓国出身の香川県国際交流員ジョン チェヨンさんから、韓国の食文化や首都ソウルの食の流行、食事マナーなどを紹介してもらいました。

はじめに、韓国に伝わる「薬食同源」「ご飯は補薬だ」という言葉を教えていただき、食事をバランスよくとることで漢方薬と同じように健康増進に役立つという思想が根付いていることを教わりました。そのため、日ごろの挨拶でも、まず「ご飯は食べた？」という

風に、食事をしっかりとっているかを聞くそうです。

次に、ジョンさんがソウル出身であることから、ソウルのエリアごとの食の流行と独特の楽しみ方を教わりました。その他、観光でも役立つ食事マナーも説明していただき、年長者を敬う儒教の影響を色濃く感じることができました。

韓国語の挨拶や旅先で食事の時に使える韓国語も教わり、韓国への興味がより深くなりました。



国際理解講座
Spain
5.31
健康大国
スペインの
秘密を知ろう



第2回目は、スペイン出身の英語・スペイン語講師ナチョ プラスコさんから、健康大国スペインの秘密を探るべく、食事法やライフスタイルなどのお話を聴きました。

まず、2040年にスペインが世界で最も高い平均余命になるという調査があること、健康な理由の1つ「地中海式ダイエット」という食事法を教わりました。多くの方が毎日果物や野菜を食べるそうで、それらがとても安価で、キロ当たりで購入するそうです。

また、都市がコンパクトで、家の周りに必要なサービスが揃い、37%の人が歩いて通勤すること、家に帰って昼食・昼寝をする習慣「シエスタ」や、バル(レストラン・居酒屋)では知り合いと会話を楽しむなど、人とのつながりを大事にすることがストレスを下げる要因となっていると教わりました。

最後にスペイン語も教わり、参加者からは、スペインを訪れ、今回教わった視点から感じてみたいという声も聞かれ、理解を深めたようでした。



坂出市に住む外国人のための生活ガイドブック 改訂!

最新情報をお届けすべく、7月に改訂しました。交通事故や火事・病気などの緊急時や、地震や台風などの災害時の対応、ごみの出し方、行政手続き等、坂出市での生活に必要な情報をまとめています。身近な外国出身者の方にも、ぜひお知らせください。

- ・対応言語 (5言語) : 英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語・日本語 (ルビ付き)
- ・配布場所 : 市民課窓口、市ホームページ

市ホームページはこちらから!!





日本語教室『にほんご@坂出』に通う学習者さんに、エッセイを書いてもらいました。



初めまして。私はリュウと申します。5年前に、ベトナムから来ました。皆さん、ベトナムについて何か知っていますか？私の国の素敵なおとこをいくつか紹介します。

首都ハノイとホーチミン(昔の名前は"サイゴン")はベトナムの2大都市です。それらはベトナムの経済と政治の中心地です。どちらも旅行者が色々な観光、ショッピングや食事をする事ができます。ベトナム料理と言えばフォー(phở)やバインミー(bánh mì)などが有名です。

ベトナムから日本まで飛行機で約6時間かかります。日本に来た頃は大阪、京都、奈良などへ旅行しました。様々なところへ行けば行くほど、日本の景色が好きになりました。日本の食べ物で私が大好きなのは、天ぷらとお好み焼きです。

ここ3年はコロナのせいで、どこにも行きませんでした。でも、日本語教室には毎週通っています。日本語能力試験に合格するためです。3年間ベトナムに帰国できなかったけれど、教室の先生方がやさしく私を気にかけてくださったおかげで、少し寂しさがまぎれました。教室には色々な国から来た人たち、例えばアメリカ、ミャンマー、中国、インドネシア、モンゴル、ペルーの人たちと話をします。

私の一番好きな言葉は"人生は己を探す旅である"です。日本に来たことは私自身を探す旅の一つです。この記憶は決して忘れません。あなたはどこへ旅をしますか？

募集

国際理解講座

「ベトナムのファストフード作りを楽しもう」

日時：10月18日(火)
午前10時から11時30分(予定)

場所：坂出市勤労福祉センター 割烹室

内容：バインミー作り(持ち帰り)、
食文化の紹介

参加費：600円(会員とその同居家族)

※一般1,000円

定員：15名(申込先着順)

申込：下記事務局に電話かメールで。

10月3日(月)申込開始



募集

異文化理解イベント

「ハッピーハロウィーン in 坂出」



日時：10月22日(土)
午前9時30分から11時30分(予定)

場所：坂出市民ふれあい会館

内容：ハロウィーンの紹介、ゲーム、簡単な工作

参加費：300円(会員とその同居家族) ※一般500円

定員：30名(満3歳児～小学生)

※未就学児は保護者同伴

申込：下記事務局に電話かメールで。

10月11日(火)申込締切

※応募者多数の場合は抽選



※必要事項はお名前・ふりがな・学年(未就学児は年齢)・郵便番号・住所・電話番号



坂出市の外国籍住民数 (2022年9月)

国籍	人数
ベトナム	356人
インドネシア	194人
中国	144人
フィリピン	131人
カンボジア	85人
ラオス	61人
タイ	51人
他22か国・地域	172人
合計	1,194人
坂出市人口比	2.3%

ボランティアのことやイベント情報など、是非チェックしてみてください



坂出市国際交流協会

検索



←協会 facebook はこちらから!!

※在住外国人向け情報も「やさしい日本語」で発信中!!

編集後記

新型コロナで中止していた料理を作る国際理解講座を再開することにしました。作った物は持ち帰るなど、感染防止対策を取りつつ、今できることを広げていきます。来年は、サウサリート市との姉妹都市提携35周年をお祝いします!皆様と力を合わせ、素晴らしい記念の年となるよう努めたいと思います。

編集・発行

坂出市国際交流協会事務局

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号(坂出市秘書広報課内)

Tel:0877-44-5000 Email:kokusai@city.sakaide.lg.jp